

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 1日

事業所名あひろば丸岡

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			極力死角を少なくし、全体を見渡しやすくしています。児童が2F個室へ行く際、必ず職員が付き添いを行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○				今後も児（利用者様）の人数や状況に応じた適切な配置を心がけていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		階段に手すりがあります。 児童の状況に応じてレイアウトを変更したり構造化を図ったりしています。	玄関・トイレにも手すりがあると良い →建物の構造の関係から難しい部分もありますが、出来る限り対応させて頂きたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日の朝礼・昼礼時や定期的なミーティング時において情報・支援方法の共有や課題の分析・改善にあたっています。 小さなことでも職員同士話すように心がけています。	今後も、更に密に情報共有を図り、統一した支援が出来るよう取り組んで参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート内容を踏まえ、迅速な対応を心がけています。	保護者様の要望には出来るだけ応えられるようにこれからも努めて参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			弊社HP上で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		現在は第三者による外部評価を行っていませんが、状況に応じて検討を行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的な内部研修（月1回以上）を実施し、職員の資質向上に努めています。 4月と10月にそれぞれ新規職員研修を実施しています。	今後も職員のニーズや状況に応じて、効果的な研修を行っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様・保護者様・職員で話し合い、情報を共有し客観的に分析した上で作成しています。	利用者様・保護者様のニーズを大切にし、計画づくりを行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートなどを活用しながら、状況の確認や分析を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全職員が立案に携われるよう極力日程等を調整するなどの取り組みを行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児（利用者様）や職員の意見を反映させたり、あひろば他事業所のイベントも参考にするなど工夫を行っています。	児（利用者様）にとってやりやすい、楽しめる内容を今後も考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日・長期休暇などそれぞれにおいて活動の内容や課題を調整しながら支援を行っています。通う頻度を考慮した支援や目標設定を行っています。	平日・学校休業日それぞれの特性を活かしながら、より細かく児（利用者様）への支援に反映させていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			児（利用者様）の状況や保護者様のご意向を尊重しながら、職員間で話し合い計画の作成にあたっています。 適時、組み合わせを行っています。	より専門性の高い計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼や昼礼を実施し、振り返りや情報の共有を図っています。 また、月に一度全体ミーティングも実施し様々な議題について話し合いを行っています。	「報告」「連絡」「相談」を重視しつつ、職員にとってやりやすい、伝わり易い環境整備を計っていきます。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		職員間で話す機会を設けています。些細なことでも伝えるよう気をつけています。	送りの送迎や営業時間の関係から当日中に伝えられない事もありますが翌日の朝礼時等で共有に努めています。気になることやトラブルがあった場合、より迅速に正確に共有出来るように努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個別記録を利用日毎に記入しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを実施し、振り返りを行いながら、次の計画の作成に繋げています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			適切な事業運営が出来るよう、定期的に研修等を通じて再確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議においては、対象となる児（利用者様）の担当職員、もしくは施設長・児発管が状況に応じて出席しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			送迎時に児（利用者様）の様子を確認したり、その場で伝えきれないことや重要なこと等は、その後電話等で情報伝達を行っています。	放デイ内での出来事などについても、必要に応じて学校側との情報共有を図っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		「てんかん」などの基礎疾患を持つ方に関しては、保護者様と事前に対応について話し合っています。	状況に応じて、医療機関も交えながら対応や連絡体制についての情報共有を図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者様や相談員からの聞き取りを中心に家庭や保育所等での様子を伺っています。	状況に応じて、移行支援会議などを通じて連携や情報交換などを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			現在、卒業後、障害福祉サービス事業所等へ移行した実績が無い状況ですが、今後必要に応じて放デイでの様子や状況などの情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		地域の社会福祉協議会の研修やイベントなどに出席しています。相談支援事業所と連携したり、外部の研修に積極的に参加しています。	今後も必要に応じて、専門機関の研修などに職員を派遣していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスの影響で実施出来ない状況にありますが、今後は状況を見ながら出来ると良いと思います。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、取り組みを自粛している状況ですが、保護者様の意見等考慮しながら交流の機会を検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			地域の社会福祉協議会の研修やイベントなどに出席しています。	今後は、協議会で話し合った地域の課題などについて、より事業所内でも積極的に話し合い、職員一人ひとりに問題意識を持てるよう働きかけていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳などのツールを用いながら、保護者様と情報共有や意見交換を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			明確な実績はまだありませんが、保護者様のニーズに応じて提供していきたいと考えています。また、職員への研修も積極的に行っていきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や個別支援計画の面談の際、または必要に応じて個別で説明をさせて頂いています。	今後もし不明な点がございましたら、お気軽にお申し付け下さい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			アセスメントや個別支援計画の面談の際に最近の状況の聴き取りや、情報交換などを行っています。	お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルスの影響で控えていた部分はありますが、状況などに応じて開催を検討出来たらと思います。	現在は行っていないですが、子育ての悩みや情報の交換を進めていくため、保護者様同士の交流の場の設置について必要に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情・相談に対する窓口を設置しています。迅速かつ丁寧な対応を心がけています。	今後も保護者様から頂いたご要望などには迅速に対応し、不安の除去に努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的にHP上のブログにおいて、活動内容を掲載させて頂いたり、月ごとのプログラムを掲示させて頂いたりしています。	今後とも、あひろば丸岡での活動を広く知って頂ける取り組みを行っています。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っています。	今後も情報の取り扱いには細心の注意を払い、安心して通所や情報交換が出来るように努めて参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			特性に応じた柔軟な対応や配慮に努めています。	今後も特性や状況に応じて柔軟な対応を行って参ります。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		保護者様向けの観覧（イベント）は数回実施しています。	新型コロナウイルスの感染状況を窺いながら、地域に向けた開催について検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせて、その都度おたよりを配布させて頂いています。	防犯対策マニュアル、緊急時の対応マニュアルについても、保護者様に広く周知出来るような取り組みを検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に児（利用者様）含め、避難訓練を実施させて頂いています。「防災センター」への見学などの体験も実施し、知見を広げる活動に取り組んでいます。	（災害時を想定し、）より危機感を持った訓練を実施していきます。今後更に災害に備えた道具を順次整備して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に職員への虐待防止についての研修の機会を確保しています。	今後も定期的な研修の機会を設け、理解を深めて参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			利用者契約書に身体拘束等の禁止について記載しており、契約時などにおいて対応についてご説明させて頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者様からの情報提供を受け、その情報を基に対応をさせて頂いています。	状況に応じて保護者様のニーズに合わせて医療機関との直接的な連携も図っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			案件毎に報告書を作成し、職員間で話し合いを行い、再発防止に努めています。事故等が生じた時の情報共有を適切に行っています。	